

栃の木からの手紙

2024年 長月 9月号



赤ビーツと3mを超えるデントコーンの壁。

作物を育てるのも大切ですが有機JASの「有機飼料」としての認証取得の書類を3月末に提出して、6月11日に現地審査を受けました。8月19日に認証の為の審査が行われ新規に認証されま



3日： 新月 旧 8月 1日
7日： 白露
18日： 満月 旧 8月 16日
22日： 秋分

ゝ ざわわ ざわわ ざわわ・・・
・・・広いサトウキビ畑は・・・ ゝ

慰霊の夏、うちでは8月10日を目途に早出し食用芋の栽培を行い、収穫を始める。お盆であちこちの畑が静まっている中、芋の収穫作業を行っている。うちの収穫作業の中では一番大変な作業ですが今年は8月14日で終了。翌日から選別箱詰を行いJA出荷を始めました。

今年からは、早出し男爵を澱粉芋に替え、有機JAS芋を飼料作物のデントコーンに替え、9月初めの有機JAS芋の収穫も無くなりました。



した。今迄の有機JAS畑で「有機農産物」と「有機飼料」の二つの有機認証を取得しました。

デントコーンの株元は、6月下旬から7月上旬に大変な手取り除草を行いました。芋の栽培の時と比べると雑草がとても少なくなっています。いつの日か小さな機械が勝手に除草作業をしている光景を思いながらこのトンネルの中を歩くのも嬉しいだろうな。

ゝ ざわわ ざわわ ざわわ・・・
・・・風が通りぬけるだけ・・・ ゝ